

キリストをわたしたちの常時の救いとして経験する

聖書：ピリピ 2:12-16

- I. ピリピ第 2 章 12 節の救いは、神の罪定めや火の池からの永遠の救いではなく、日ごとの、常時の救いであって、生けるパーソンとしてのキリストです：
- A. この実行上の、日ごとの、瞬間ごとの救いは、わたしたちが生き、経験し、享受しているキリストを、外側でも内側でも模範とした結果です：
1. この救いの主要な要素は、十字架につけられた命としてのキリスト(ピリピ 2:5-8)、高く引き上げられたキリストです(9-11 節)。
  2. この模範がわたしたちの内なる命となるとき、この模範はわたしたちの救いとなります。
  3. わたしたちの救いを成し遂げることは、この模範を成し遂げ、経験においてこの模範の複写となることです——参照、I ペテロ 2:21。
- B. ピリピ第 1 章 19 節の常時の救いは、特定の信者が特別な状況の中で、特殊な境遇から救われることです。第 2 章 12 節の常時の救いは、すべての信者が、日常生活の一般的な状況の中で、通常の事柄から救われることです。
- II. わたしたち自身の救いを成し遂げることは、それを完成し、究極の結末にもたらずことです——ピリピ 2:12：
- A. わたしたちは神の救いを受けました。この救いの頂点は、わたしたちが主イエスのように、神によって栄光の中で高く引き上げられることです——9 節。
- B. 今やわたしたちは、内側の動機である恐れと外側の態度であるおののきをもって、常に絶対的に従順になって、この救いを完成し、究極の結末にもたらず必要があります——12 節、参照、8 節、サムエル上 15:22。
- C. 内側で活動する神ご自身がわたしたちの救いであり、この神に従順であることがわたしたちの救いを成し遂げることです——ピリピ 2:12-13。
- III. わたしたちが常に従順であるべきなのは、神がわたしたちの内側で活動しているからです——ピリピ 2:13：
- A. わたしたちが自分自身によって救いを成し遂げるのではなく、神がわたしたちの内側で活動して救いを成し遂げるのです。わたしたちが行なう必要があるただ一つの事は、内側で活動し、活力を与える神に従順であることです——参照、コロサイ 1:29。
- B. わたしたちの内側で活動している、わたしたちの主観的な救いである神は、三一の神、すなわち、父、子、霊です。この神はわたしたちの中におられるキリストであり(II コリント 13:3 前半, 5)、わたしたちの中におられるその霊です(ローマ 8:11)。
- IV. 神は彼の大きな喜びのために、わたしたちの内側で活動し、願わせ働かせています——ピリピ 2:13：
- A. 願わせることは内側のことであり、働かせることは外側のことです。
- B. 願わせることは、わたしたちの意志の中で起こります。これは、神の活動がわたしたちの霊から始まり、思い、感情、意志へと広がり、最終的に体へと広がることを示しています——ローマ 8:4 6, 11。

C. 神のみこころの大いなる喜びとは（エペソ 1:5）、わたしたちの内で活動して、わたしたちを神の無上の救いの頂点に到達させることです——参照、ローマ 5:10, 17。

**V. つぶやきと議論は、わたしたちの救いを最も満ち満ちた程度にまで完成することを妨げ、キリストを極みまで経験し、享受することを妨げます——ピリピ2:14：**

A. つぶやきは、感情からであり、おもに姉妹たちから来ます。議論は、思いからであり、おもに兄弟たちから来ます。

B. つぶやきと議論は、神に対して不従順であることのゆえです。神に対して従順であることは、すべてのつぶやきと議論を殺します。

C. わたしたちはすべての事を、つぶやいたり議論したりすることなく行なうべきです。それは、わたしたちが責められるところのない、たくらみのない、すなわち傷のない神の子供たちとなるためです—— 15 節：

1. 「責められるところのない」は、わたしたちの外側の振る舞いを描写しており、「たくらみのない」は、わたしたちの内側の性格を描写しています。たくらみのないことは、単純で、装いがなく（政治的でなく）、純真なことです——マタイ 10:16。

2. わたしたちは神の子供たちとして、神の命と性質を持っています——ヨハネ 3:16。  
II ペテロ 1:4。

**VI. サタンによって強奪され、暗く腐敗したこの世のただ中で（I ヨハネ 5:19. 2:15-17）、わたしたちの機能は、発光体のように輝き、命の言葉を提供することです——ピリピ 2:15-16：**

A. キリストは太陽であり、召会（月）と信者たち（惑星）を持っており、命の言葉を提供することによって、ご自身を反射しています。

B. 命の言葉を提供することは、キリストを生かし出すことによって、世の人に命の言葉を適用し、提示し、ささげることです——使徒 5:20。

**VII. ピリピ第 2 章 12 節から 16 節は、第 1 章 19 節から 21 節におけるキリストを生きることの解釈です：**

A. わたしたちの内で活動する神は（2:13）、供給するその霊です（1:19）。

B. 発光体のように輝くことは（2:15）、キリストを大きく表現することです（1:20）。また命の言葉を提供することは（2:16）、キリストを生きることです（1:21 前半）。

C. キリストを生きる唯一の道は、命の言葉で浸透されることです：

1. 命の言葉は、神の生ける息（II テモテ 3:16）、命を与えるその霊です（ヨハネ 6:63）。

2. わたしたちは御言を祈り読みし、神の言葉をすべての祈りと願い求めによって受け取る必要があります——エペソ 6:17-18。

3. わたしたちは御言を歌い読みし、歌うことによって、知恵を尽くして、キリストの言葉をわたしたちの内に豊かに住まわせる必要があります——コロサイ 3:16。

4. わたしたちは日ごとに生ける御言の豊富で満たされるなら、自然に命の言葉を提供します。これはキリストを生きて、彼がわたしたちの中で大きく表現されることです

**VIII. ピリピ第 2 章 5 節から 16 節は、わたしたちの常時の救いのための、神聖で豊富な備えを啓示しています：**

- A. わたしたちは、主イエスを模範として持っています——ピリピ 2:6-11。
- B. わたしたちは、内で活動する神を持っています—— 13 節。
- C. わたしたちは神の子供たちであり、神の命と神聖な性質を持っています—— 15 節。
- D. わたしたちは発光体であり、キリストの神聖な光を反射するように資格づけられています—— 15 節。
- E. わたしたちは、人に提供し提示する命の言葉を持っています—— 16 節。